

## 指導用資料

### Activity 2 年生

#### 見たことを話そう！

言語材料      There is / are ～.

ねらい      「聞く」「話す」活動を通して、There is / are ～.の用法の定着を図る。

準備するもの      シート1(1枚), シート2(1枚), 白紙の紙(グループの数)

時間・形態      15分・グループ

#### 実践方法

1. 教室の後ろにシート1とシート2を離して貼っておく。
2. 各グループに白紙の紙を1枚ずつ配付する。
3. グループで1名, 絵を描く人を決める。
4. どのグループがどちらの絵を描くか決める。(絵の付近が混まないように均等に分けたほうがよい。)
5. グループから1人ずつ教室の後ろに行き, 絵の内容を1箇所覚えてくる。
6. グループに戻り, 見てきた絵の様子について There is / are ～.を使って説明する。次のような英文を言うことになる。

#### シート1

There are two mountains.

There are two clouds.

There is a house between the two mountains.

There is a big tree by the house.

There is a boy outside the house.

#### シート2

There is a table.

There are two girls at the table.

There are two glasses of juice on the table.

There is a candle on the table.

There are two pieces of cake on the table.

There is a cat under the table.

7. 描き手は, 聞いた説明の通りに紙に絵を描く。
8. 次の生徒も同様に絵の内容を覚えてきて, 描き手に伝達する。
9. 制限時間(5～7分程度)を決め, 絵の完成度を競わせる。

#### ワンポイント

- 教室の後ろに貼ってある絵は, 描き手に見えないようにする。(説明だけを聞いて絵を描くようにする。)
- 絵は廊下に提示してもよい。
- The boy has a baseball. / We can see an airplane. (シート1), The room has a window. (シート2) など There is / are ～.以外の表現を使うことも可とする。

#### バリエーション

- 教師が英語で絵の様子を説明し, 全員が絵を描くという活動も可能である。

#### 参考

- Unit 4 Taku Gets Lost に関連



